

小学4年 国語「もしものときにそなえよう」

ねらい

- ・テーマを決めて調べ、整理することができる。
- ・理由や例を挙げて、考えを伝える文章を書くことができる。

学習展開（9時間）

- ① 学習のゴール「理由や例を挙げて、考えを書こう」を知り、そのためにテーマを決めて情報を集めていくことを知る。
- ② 司書と「引用の仕方」を再確認し、ブックトークをしてもらい参考図書について知る。
- ③ テーマを決めて、参考図書やインターネットを活用して自分の考えを裏付ける情報を集め、メモする。
- ④ 情報メモをもとにして、構成を考え文章化していく。
- ⑤ 下書きし、チェックシートをもとにして確認する。
- ⑥ 清書用紙に書き、互いに読み合う。

指導のポイント

- ・教科書を参考にしながら、「説得力のある文章の書き方」や「引用した文や参考にした本等の明記の仕方」を司書作成のパワーポイントによって再学習してから参考図書選びを進めた。
- ・児童が引用しやすく、整理がしやすい参考図書を選定し、どんなことについて調べやすい資料なのか伝わるようにブックトークを行った。
- ・「情報メモ」「構成メモ」「清書用紙」と学習の流れに沿ったワークシートを用意し、児童自身が書き進められるようにした。「下書きチェック」用紙を作成し、重要ポイントを自分だけでなく友だちにも見てもらってから清書に進めていけるようにした。

「引用の仕方」を再学習

（司書作成のパワーポイント・一部）

もしものときにそなえよう 調べたこと・自分の考え

インターネットでもおなじ

火山の噴火のときにたいせつなことは、
~~~~~である。

市のホームページの「3 白山の噴火災害に備える【噴火警戒レベル4、5の場合】（白山市版）」によると、  
~~~~~と書かれているからだ。

白山市HP
<https://www.city.hakusan.lg.jp/seikatsu/hoonai/1017239/1001853.html>

児童の作品

学校図書館との関わり

- ・図書館にて司書教諭と司書、教科担当の3人でミーティング・教材研究を行った。
- ・参考図書を選定し、学級貸出・展示した。
- ・司書によるブックトークを行い、参考図書を見童に周知した。
- ・夏休み前に実施している「引用の仕方」を司書作成のパワーポイントにて再学習した。